

交換レンズ  
Interchangeable Lens  
Objectif interchangeable

取扱説明書  
Operating Instructions  
Mode d'emploi  
Manual de instrucciones

MASTER

FE 100mm  
F2.8 STF GM OSS  
E-mount

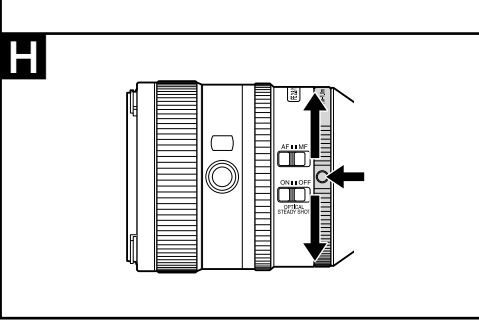
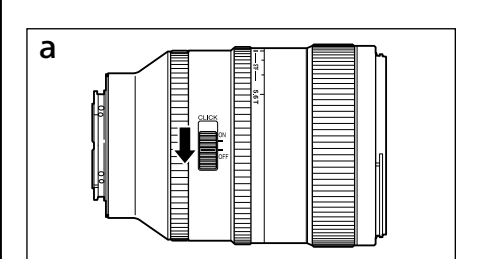
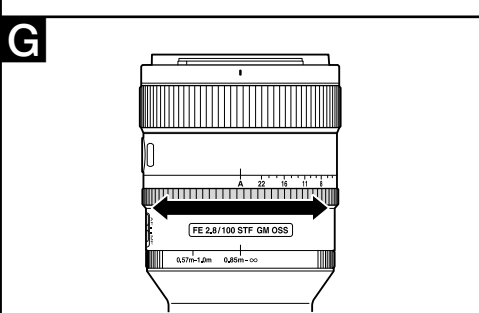
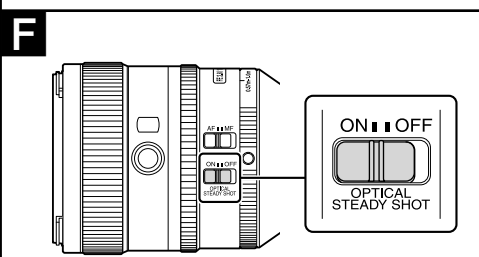
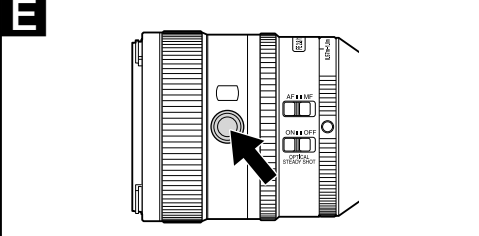
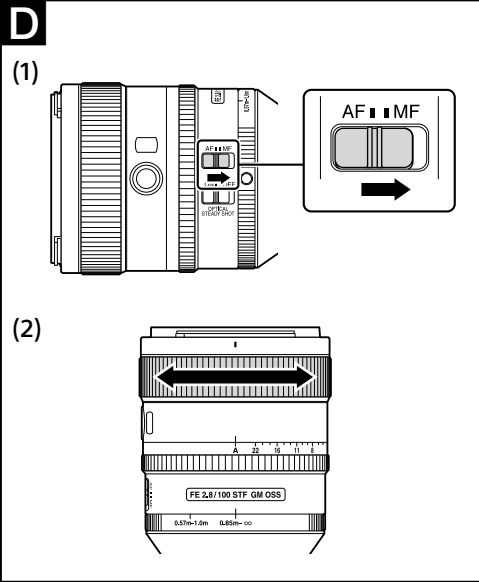
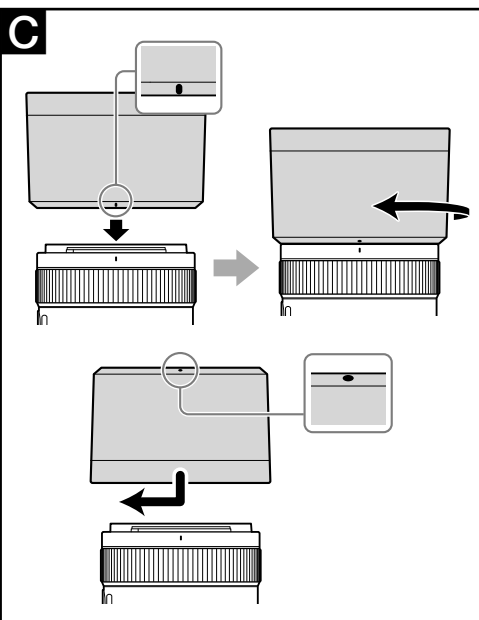
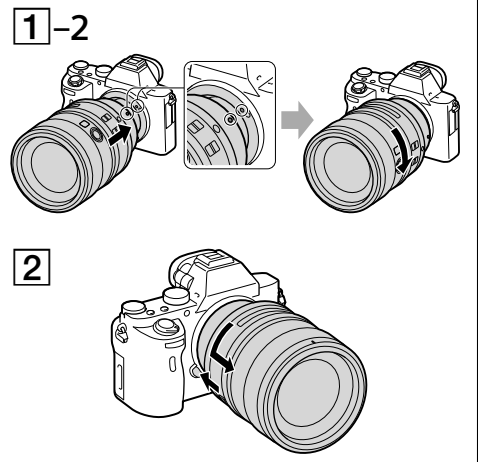
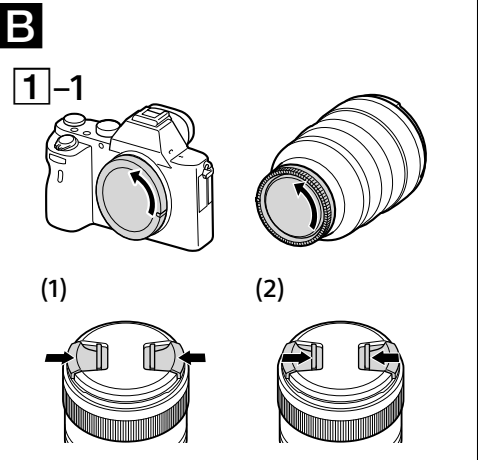
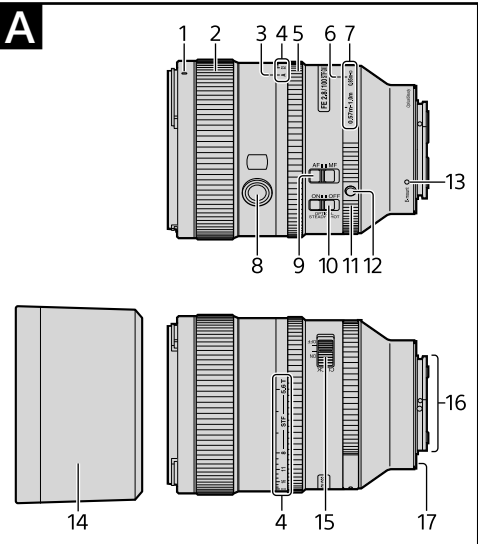


SEL100F28GM



4584765010

http://www.sony.net/  
©2016 Sony Corporation  
Printed in Thailand



日本語  
警告  
電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

この「取扱説明書」ではレンズの使いかたを説明しています。使用上のご注意など、レンズに共通したご注意や説明については別冊の「使用前のご注意」でご覧頂けます。必ずご使用前に、本書と合わせてよくお読みの上でご使用ください。

本機はソニー製αカメラシステムEマウントカメラ専用のレンズです。Aマウントカメラにはお使いになれません。

35mm判相当の撮像素子範囲に対応しています。35mm判相当の撮像素子搭載機種ではカメラ設定によってAPS-Cサイズでも撮影が可能です。カメラの設定方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。  
http://www.sony.jp/support/ichigan/

### 使用上のご注意

- レンズを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。レンズの集光作用により、発煙や火災、ボディ・レンズ内部の故障の原因になります。やむを得ず太陽光下等におく場合は、前後レンズキャップを取り付けてください。
- 逆光撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。太陽光がカメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。また、太陽を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがあります。
- レンズを取り付けてカメラを持ち運ぶときは、カメラとレンズの両方をしっかりと持ち運ぶてください。
- 本機は防じん、防滴性に配慮して設計されていますが、防水性能は備えていません。雨中使用時などは、水滴がからないようにしてください。

フラッシュ使用時のご注意  
カメラ内蔵フラッシュはお使いになれません。外付けフラッシュ（別売）をご使用ください。

### A 各部のなまえ

- レンズフード指標
- フォーカスリング
- 絞り指標
- 絞り目盛
- 絞りリング
- マクロ切り替え指標
- マクロ切り替え目盛
- フォーカスホールドボタン
- フォーカスモードスイッチ
- 手ブレ補正スイッチ
- マクロ切り替えリング
- マクロ切り替えロック解除ボタン
- マウント標点
- レンズフード
- 絞りリングクリック切り替えスイッチ
- レンズ信号接点\*
- レンズマウントゴムリング

\*直接手で触れないでください。

### B レンズの取り付けかた／取りはずしかた

- 前後のレンズキャップとカメラのボディキャップをはずす。
  - レンズフロントキャップは図の(1)、(2)の2通りの方法で取り付け／取りはずしができます。(2)は、レンズフードを付けた状態でレンズキャップの取り付け／取りはずしに便利です。
- レンズとカメラの白い点(マウント標点)を合わせてはめ込み、レンズを軽くカメラに押し当てながら、時計方向に「カチッ」とロックがかかるまでゆっくり回す。
  - レンズを取り付けるときは、カメラのレンズ取りはずしボタンを押さないでください。
  - レンズを斜めに差し込まないでください。

### 取りはずしかた(イラストB-2参照)

カメラのレンズ取りはずしボタンを押したま、レンズを反時計方向に回してはずす。

### C レンズフードを取り付ける

画面外にある光が描写に影響するのを防ぐために、レンズフードの使用をおすすめします。

レンズフードの赤線をレンズの赤線(レンズフード指標)に合わせてはめ込み、レンズフードの赤点とレンズの赤線が合って「カチッ」というまで時計方向に回す。

- 外付けフラッシュ（別売）を使って撮影するとき、フラッシュ光が遮られることがありますので、レンズフードははずしてください。

- 撮影後レンズフードを収納するとき、逆向きにレンズに取り付けてください。

### D ピントを合わせる

ピント合わせは、以下3つの設定方法があります。

- オートフォーカス  
ピント合わせを自動で行う。

- DMF (ダイレクトマニュアルフォーカス)  
オートフォーカスでピントを合わせた後に、マニュアルでピントを微調整する。

- マニュアルフォーカス  
ピント合わせを手動で行う。

各モードの設定方法は、カメラの取扱説明書をご覧ください。動画時のAFは一部のカメラ本体においてお使いになれません。カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

### AF (オートフォーカス) / MF (マニュアルフォーカス)の切り替え

AF (オートフォーカス:自動ピント合わせ) / MF (マニュアルフォーカス:手動によるピント合わせ)の設定を、レンズ側で切り替えることができます。AFで撮影する場合は、カメラ側とレンズ側両方の設定をAFにします。カメラ側あるいはレンズ側のいずれか一方、または両方の設定がMFの場合、MFになります。

### レンズ側の設定

フォーカスモードスイッチを、AFまたはMFのいずれか設定したいほうに合わせる(1)。

- カメラのフォーカスモードの設定方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。
- MFではファインダー等を見ながらフォーカスリングを回して、ピントを合わせます(2)。

### AF/MFコントロールボタンを装備したカメラをお使いの場合

- AF動作時にAF/MFコントロールボタンを押すと、一時的にMFへ切り替えることができます。
- MF動作時にAF/MFコントロールボタンで一時的にAFへ切り替えるができるのは、レンズの設定がAF、カメラの設定がMFの場合となります。

### E フォーカスホールドボタンを使用する

- 本製品のフォーカスホールドボタンは、一部のカメラ本体においてお使いになれません。カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトで確認ください。

AF中にフォーカスホールドボタンを押すと、AFの駆動を止めることができます。ピントが固定され、そのままのピントでシャッターを切れます。シャッターボタンを半押しした状態で、フォーカスホールドボタンを離すと、AFが再開します。

### F 手ブレ補正を使用する

手ブレ補正スイッチ  

- ON: 手ブレを補正します。
- OFF: 手ブレを補正しません。三脚をお使いになる場合は、手ブレ補正をOFFにすることをおすすめします。

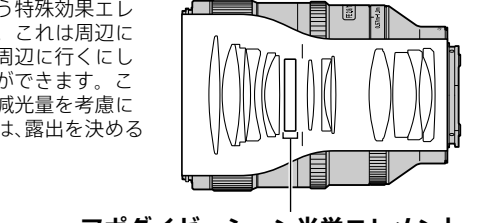
### G 明るさを調節する

絞り指標に絞り目盛「A」を合わせると、オートアイリスモードになり、カメラ本体で明るさを調節できます。また、絞りリングを回すことで、光量をTNo.5.6～T22\*にマニュアル調節できます。

\*TNo. (Tナンバ): レンズの透過率を考慮に入れた、実質的なレンズの明るさを示す値。このレンズの開口径はF2.8ですが、アポダイゼーション光学エレメントの使用により、光量的にはT5.6、すなわち通常のF5.6のレンズと同じ明るさになります。レンズ上の絞り表示の値、カメラの表示部に現れる値、露出決定の際に使用する値もすべてTNo.になります。このレンズでは、TNo.を通常の絞り値としてお使いください。

### アポダイゼーションについて

このレンズでは、「アポダイゼーション光学エレメント」という特殊効果エレメントを、レンズ光学系の中の絞りの近くに配置しています。これは周辺に行くにしたがって透過光量が落ちる特殊光学エレメントで、周辺に行くにしたがって濃度が高くなる一種のNDフィルターと考えることができます。このレンズの絞り値は、アポダイゼーション光学エレメントの減光量を考慮に入れたT No.によって、表示/コントロールされます。T No.は、露出を決める上では普通のレンズのF No.と同様にお使いいただけます。



ボケ味改良の原理	アポダイゼーション光学エレメント
点像のボケかた	線のボケかた
本レンズ	
周辺に行くほどなだらかに強度が弱くなる	形を失わずになだらかに広がる
収差を良好に補正したレンズ	線が太る
強度が均一で広がりがある	

ボケ像は点像の集まりによって表現されます。収差が良好に補正されたレンズでは、像の形は正確に再現されますが、なめらかなボケ具合は失われてしまいます。補正のされかたによっては、2線ボケなど汚いボケになることもあります。アポダイゼーション光学エレメントを採用したこのレンズでは、周辺に行くほど強度が落ちるため、芯があってなめらかな広がりのある描写、すなわち元形の形が不自然に変形することのない、柔らかく自然なボケ味を表現することができます。アポダイゼーション光学エレメントは、T5.6～T8の範囲で効果を発揮します。

### マニュアルで光量調節する

カメラがMモードまたはAモードの状態、絞りリングを回して、希望のTNo.に合わせる。

- このレンズでは、T5.6～T8の間で絞り径を微細に設定できるように、その区間の目盛間隔を拡大しています。
- T5.6、6.3、7.1、8の位置に目盛がありますが、その間の絞りも設定可能です。
- 実際の撮影では絞りリングで設定された絞り値が使われますが、カメラの表示や記録される露出値は、カメラ設定「露出値ステップ幅」で設定された段数によります。

ご注意  
動画撮影時に絞りリングを操作するときは、絞りリングクリック切り替えスイッチを「OFF」にしてください。(イラストG-a) 絞りリングクリック切り替えスイッチがOFFのときは、操作音が軽減されます。(動画撮影用) 絞りリングクリック切り替えスイッチを「ON」にしたまま動画撮影中に絞りを変更すると、操作音が記録されます。

### H 撮影距離を切り替える

マクロ切り替えリングを回して「0.57m-1.0m」に合わせると、最短撮影距離0.57mまでの近接撮影(最大撮影倍率0.25倍)をすることができます。マクロ切り替えロック解除ボタンを押しながら、マクロ切り替えリングを回して、希望の撮影距離に合わせる。

- 0.85m-∞ (通常撮影): 無限遠から0.85mまでピントが合います。
- 0.57m-1.0m (マクロ撮影): 1.0mから0.57mまでピントが合います。

### 主な仕様

商品名 (型名)	FE 100mm F2.8 STF GM OSS (SEL100F28GM)
焦点距離 (mm)	100
焦点距離イメージ*1 (mm)	150
レンズ群一枚	10-13 *2
画角1*3	24°
画角2*3	16°
最短撮影距離*4 (m)	
マクロ切り替えリング	
「0.85m-∞」時	0.85
マクロ切り替えリング	
「0.57m-1.0m」時	0.57
最大撮影倍率 (倍)	
マクロ切り替えリング	
「0.85m-∞」時	0.14
マクロ切り替えリング	
「0.57m-1.0m」時	0.25
最小絞り	F20 (T22)
フィルター径 (mm)	72
外形寸法 (最大径×長さ) (約: mm)	85.2×118.1
質量 (約: g)	700
手ブレ補正機能	あり

\*1 撮像素子がAPS-Cサイズ相当のレンズ交換式デジタルカメラ装着時の35mm判換算値を表します。

\*2 アポダイゼーション光学エレメントを含まず。

\*3 画角1は35mm判カメラ、画角2はAPS-Cサイズ相当の撮像素子を搭載したレンズ交換式デジタルカメラでの値を表します。

\*4 最短撮影距離とは、撮像素子面から被写体までの距離を表します。

レンズの機構によっては、撮影距離の変化に伴って焦点距離が変化する場合があります。記載の焦点距離は撮影距離が無制限での定義です。

同梱物 ( ) 内の数字は個数)

レンズ(1)、レンズフロントキャップ(1)、

レンズリヤキャップ(1)、レンズフード(1)、

レンズケース(1)、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

α および G はソニー株式会社の商標です。

### English

This instruction manual explains how to use lenses. Precautions common to all lenses such as notes on use are found in the separate "Precautions before using". Be sure to read both documents before using your lens.

This lens is designed for Sony α camera system E-mount cameras. You cannot use it on A-mount cameras. The FE 100mm F2.8 STF GM OSS is compatible with the range of a 35mm format image sensor. A camera equipped with a 35mm format image sensor can also be set to shoot at APS-C size. For details on how to set your camera, refer to its instruction manual.

For further information on compatibility, visit the web site of Sony in your area, or consult your dealer of Sony or local authorized service facility of Sony.

### Notes on Use

- Do not leave the lens exposed to the sun or a bright light source. Internal malfunction of the camera body and lens, smoke, or a fire may result due to the effect of light focusing. If circumstances necessitate leaving the lens in sunlight, be sure to attach the lens caps.
- When shooting against the sun, keep the sun completely out of the angle of view. Otherwise, solar rays may be concentrated at a focal point inside the camera, causing smoke or a fire. Keeping the sun slightly out of the angle of view may also cause smoke or a fire.
- When carrying a camera with the lens attached, always firmly hold both the camera and the lens.
- This lens is not water-proof, although designed with dust-proofness and splash-proofness in mind. If using in the rain etc., keep water drops away from the lens.

Precautions on using a flash  
 You cannot use a built-in camera flash with this lens. Use an external flash (sold separately).

### A Identifying the Parts

- Lens hood index
- Focusing ring
- Aperture index
- Aperture scale
- Aperture ring
- Macro switching index
- Macro switching scale
- Focus hold button
- Focus mode switch
- Shake compensation switch
- Macro switching ring
- Macro switching unlock button
- Mounting index
- Lens hood
- Aperture click switch
- Lens contacts\*
- Lens mount rubber ring

\* Do not touch the lens contacts.

### B Attaching and Detaching the Lens

To attach the lens  
(See illustration B-1.)

- Remove the rear and front lens caps and the camera body cap.
  - You can attach/detach the front lens cap in two ways, (1) and (2). When you attach/detach the lens cap with the lens hood attached, use method (2).
- Align the white index on the lens barrel with the white index on the camera (mounting index), then insert the lens into the camera mount and rotate it clockwise until it locks.

- Do not press the lens release button on the camera when mounting the lens.
- Do not mount the lens at an angle.

### To remove the lens (See illustration B-2.)

While holding down the lens release button on the camera, rotate the lens counterclockwise until it stops, then detach the lens.

### C Attaching the Lens Hood

It is recommended that you use a lens hood to reduce flare and ensure maximum image quality. Align the red line on the lens hood with the red line on the lens (lens hood index), then insert the lens hood into the lens mount and rotate it clockwise until it clicks into place and the red dot on the lens hood is aligned with the red line on the lens (lens hood index).

- When using an external flash (sold separately), remove the lens hood to avoid blocking the flash light.
- When storing, fit the lens hood onto the lens backwards.

### D Focusing

There are three ways to focus.

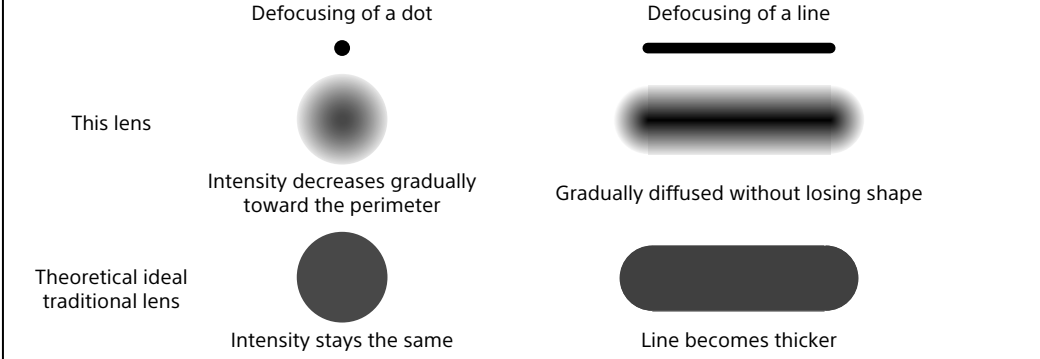
- Auto focus  
The camera focuses automatically.
- DMF (Direct manual focus)  
After the camera focuses in auto focus, you can make a fine adjustment manually.
- Manual focus  
You focus manually.

For details on mode settings, refer to the instruction manual supplied with the camera. With some camera models, AF does not function during movie recording. For further information on compatibility, visit the web site of Sony in your area, or consult your dealer of Sony or local authorized service facility of Sony.

### About Apodization

A special "apodization element" is situated near the aperture of the lens optical system. This special optical element is a type of ND filter which gradually becomes thicker (darker) towards the perimeter, thereby reducing the amount of light that passes through around the outer perimeter. The aperture of this lens is indicated and controlled by the T No., which compensates for the reduction imposed by the special apodization element. The T No. can be used as the F No. on a normal lens when the exposure is determined.

### Principle of defocusing effect improvement



Defocused images appear as blurred clusters of dots. A lens with well compensated aberration reproduces the image shape accurately, but cannot produce smooth blurs in a defocused area. There may be unpleasant blurs, which for example, make one line appear to be doubled, depending on the way of compensation. This lens adopts a special apodization element that provides a gradually diffused image toward the perimeter without losing the core shape. In other words, it provides soft and natural defocusing without transforming the original shape unnaturally. The apodization element provides its effect when the aperture is set within the range between T/5.6 and T/8.

To switch AF (auto focus)/MF (manual focus)  
The focus mode can be switched between AF and MF on the lens.

For AF photography, both the camera and lens should be set to AF. For MF photography, either or both the camera or lens should be set to MF.

To set the focus mode on the lens  
Slide the focus mode switch to the appropriate mode, AF or MF (1).

- Refer to the camera manuals to set the focus mode of the camera.
- In MF, turn the focusing ring to adjust the focus (2) while looking through the viewfinder, etc.

To use a camera equipped with an AF/MF control button

- By pressing the AF/MF control button during AF operation, you can temporarily switch to MF.
- Pressing the AF/MF control button during MF operation lets you temporarily switch to AF if the lens is set to AF and the camera to MF.

### E Using the Focus Hold Buttons

- The focus hold button of this lens does not function with some camera models. For further information on compatibility, visit the web site of Sony in your area, or consult your dealer of Sony or local authorized service facility of Sony.

Press the focus hold button in AF to cancel AF. The focus is fixed and you can release the shutter on the fixed focus. Release the focus hold button while pressing the shutter button halfway to start AF again.

### F Using the shake compensation function

- ON: Compensate for camera shake.
- OFF: Does not compensate for camera shake. We recommend setting the shake compensation switch to OFF when shooting with a tripod.

### G Adjusting the Exposure

When you align "A" on the aperture scale to the aperture index, the camera is set to auto iris mode and the exposure is set by the camera. And you can adjust the amount of light between TNo.5.6 and T22\* by rotating the aperture ring.

- T No. (T-Numbers): the T No. is a practical value that indicates how much light is in the lens, allowing for the lens's transmission rate. Although this lens's wide-open aperture is f/2.8, the special apodization system provides the light amount of T/5.6, which is the same as that of f/5.6 on a normal lens. The aperture value on the lens, the value indicated on a camera, and the value used when determining the exposure are all indicated by T No. Use the T No. as a normal aperture value.

Adjust the amount of light manually  
Rotate the aperture ring to the desired TNo. when the camera is set to the M mode or A mode.

- This lens is provided with wider aperture scale intervals between T/5.6 and T/8 for finer adjustment.
- Whereas this lens is provided with aperture scale marks indicating the values of T/5.6, T/6.3, T/7.1, and T/8, you can set the aperture to any value between those marks.
- Whereas the aperture value used for actual shooting is the one set on the aperture ring, the value used for indication on the camera as well as exposure value recording is determined in accordance with the Exposure step setting on the camera.

Notes  
Set the aperture click switch to OFF when shooting movies. (See illustration G-a) When the aperture click switch is set to OFF, the sound of the aperture ring is reduced. (For movie recording) If you change the aperture value while shooting a movie with the aperture click switch set to ON, the sound of the aperture ring will be recorded.

(Continued on back page)

## English

(Continued from previous page)

### Switching the shooting distance

You can shoot a subject as close as 0,57m (maximum magnification of 0,25x) by rotating the macro switching ring to “0.57m-1.0m.”

**Press and hold the macro switching unlock button, and then rotate the macro switching ring to the desired shooting distance.**

- 0,85m-∞ (standard shooting) : Suitable for the shooting distance between infinite and 0.85m.
- 0.57m-1.0m (macro shooting) : Suitable for the shooting distance between 1.0m and 0.57m.

## Specifications

Product name (Model name)	FE 100mm F2.8 STF GM OSS (SEL100F28GM)
Focal length (mm)	100
35mm equivalent focal length <sup>a</sup> (mm)	150
Lens groups-elements	10-13 <sup>+2</sup>
Angle of view <sup>1+3</sup>	24°
Angle of view <sup>2+3</sup>	16°
Minimum focus <sup>*4</sup> (m (feet))	
With the macro switching ring set to “0.85m-∞”	0.85 (2.79)
With the macro switching ring set to “0.57m-1.0m”	0.57 (1.87)
Maximum magnification (X)	
With the macro switching ring set to “0.85m-∞”	0.14
With the macro switching ring set to “0.57m-1.0m”	0.25
Minimum aperture	F20 (T22)
Filter diameter (mm)	72
Dimensions (maximum diameter × height (approx., mm (in.))	85.2 × 118.1 (3 <span> </span> 3/8 × 4 <span> </span> 3/4)
Mass (approx., g (oz))	700 (24.7)
Shake compensation function	Yes

<sup>\*1</sup> This is the equivalent focal length in 35mm format when mounted on an interchangeable Lens Digital Camera equipped with an APS-C sized image sensor.

<sup>\*2</sup> The apodization element is not included.

<sup>\*3</sup> Angle of view 1 is the value for 35mm cameras, and angle of view 2 is the value for Interchangeable Lens Digital Cameras equipped with an APS-C sized image sensor.

<sup>\*4</sup> Minimum focus is the distance from the image sensor to the subject.

Depending on the lens mechanism, the focal length may change with any change in shooting distance. The focal lengths given above assume the lens is focused at infinity.

Included items (The number in parentheses indicates the number of pieces.)

Lens (1), Front lens cap (1), Rear lens cap (1), Lens hood (1), Lens case (1), Set of printed documentation

Design and specifications are subject to change without notice.

**α** and **G** are trademarks of Sony Corporation.

## Français

<p>Cette notice explique comment se servir des objectifs. Les précautions communes à tous les objectifs, par exemple les remarques sur l’emploi, se trouvent sur la feuille «<span> </span>Précautions avant toute utilisation<span> </span>». Veuillez lire les deux documents avant d’utiliser votre objectif.</p>

Votre objectif est conçu pour les appareils photo à monture E de type Sony α. Il ne peut pas être utilisé sur les appareils photo à monture A. Le FE 100mm F2.8 STF GM OSS est compatible avec la plage d’un capteur d’image de format 35 mm. Un appareil photo équipé d’un capteur d’image de format 35 mm peut être réglé pour la prise de vue en APS-C. Pour les détails sur la manière de régler l’appareil photo, reportez-vous à son mode d’emploi.

Pour plus d’informations sur la compatibilité, consultez le site de Sony de votre pays, ou adressez-vous à un revendeur Sony ou à un service après-vente agréé Sony.

### Remarques sur l’emploi

- Ne laissez pas la lentille orientée vers le soleil ou une source de lumière intense. Cela risque de provoquer un problème de fonctionnement interne du boîtier de l’appareil photo et de l’objectif, de dégager de la fumée, voire de provoquer un incendie. Si toutefois vous ne pouvez pas faire autrement, veillez à fixer les capuchons sur l’objectif.
- Lors d’une prise de vue en direction du soleil, veillez à ce que le soleil ne soit pas dans l’angle de vue. Dans le cas contraire, les rayons solaires peuvent être concentrés vers le point focal dans l’appareil photo, et provoquer un incendie ou dégager de la fumée. Vous pouvez provoquer un incendie ou dégager de la fumée même si le soleil est légèrement en dehors de l’angle de vue.
- Lorsque vous portez un appareil photo avec l’objectif dessus, tenez toujours fermement l’appareil photo et l’objectif.
- Cet objectif n’est pas étanche à l’eau bien qu’il soit conçu pour résister à la poussière et aux éclaboussures. Si vous l’utilisez sous la pluie, etc. veillez à ce que de l’eau ne tombe pas dessus.

**Précautions concernant l’emploi d’un flash**

- Vous ne pouvez pas utiliser le flash de votre appareil photo avec cet objectif.

Utilisez un flash externe (vendu séparément).

## A Identification des éléments

- Repère de parasoleil
- Bague de mise au point
- Repère d’ouverture
- Échelle d’ouverture
- Bague d’ouverture
- Index de macro
- Echelle de macro
- Bouton de maintien de la mise au point
- Commutateur de mode de mise au point
- Commutateur antibougé
- Bague macro
- Bouton de déblocage de macro
- Repère de montage
- Parasoleil de l’objectif
- Commutateur d’encliquetage de l’ouverture
- Contacts d’objectif \*
- Bague en caoutchouc de montage de l’objectif

\* Ne touchez pas les contacts d’objectif.

## B Pose et dépose de l’objectif

**Pour poser l’objectif** (Voir l’illustration **B-1**.)

**1** Déposez les capuchons d’objectif avant et arrière et le capuchon de l’appareil photo.

- Vous pouvez poser et déposer les capuchons d’objectif avant de deux façons, (1) et (2). Si vous posez/déposez le capuchon d’objectif avec le parasoleil, utilisez la méthode (2).

**2** Alignez le repère blanc du barillet d’objectif sur le repère blanc de l’appareil photo (repère de montage), puis posez l’objectif sur la monture de l’appareil photo et tournez-le dans le sens hoaire de sorte qu’il s’encliquette.

- N’appuyez pas sur le bouton de libération de l’objectif sur l’appareil photo lorsque vous posez l’objectif.

- Ne posez pas l’objectif de biais.

**Pour déposer l’objectif** (Voir l’illustration **B-2**.)

Tout en appuyant sur le bouton de libération de l’objectif sur l’appareil photo, tournez l’objectif dans le sens antihoraire jusqu’à l’arrêt, puis déposez l’objectif.

### C Fixation du parasoleil

Il est conseillé d’utiliser un parasoleil pour réduire la lumière parasite et obtenir la meilleure image possible.

**Alignez la ligne rouge du parasoleil sur la ligne rouge de l’objectif (repère de parasoleil), puis insérez le parasoleil sur la monture d’objectif et tournez-le dans le sens des aiguilles d’une montre jusqu’à ce qu’il s’encliquette et le point rouge du parasoleil s’aligne sur la ligne rouge de l’objectif (repère de parasoleil).**

- Si vous utilisez un flash externe (vendu séparément), retirez le parasoleil pour éviter de bloquer la lumière du flash.
- Pour ranger le parasoleil, insérez-le à l’arrière de l’objectif.

### D Mise au point

La mise au point peut être faite de trois façons.

**Autofocus**

L’appareil photo fait automatiquement la mise au point.

- DMF (Mise au point manuelle directe)** Après la mise au point en autofocus, vous pouvez effectuer un réglage plus fin manuellement.
- Mise au point manuelle** Vous faites vous-même la mise au point.

Pour le détail sur les réglages de mode, reportez-vous au mode d’emploi fourni avec l’appareil photo. Sur certains modèles d’appareil photo, AF ne fonctionne pas lors de l’enregistrement de vidéos.

**Remarques**

### A propos de l’apodisation

Un « élément d’apodisation » spécial est situé à proximité de l’ouverture du système optique de l’objectif. Cet élément optique spécial est un type de filtre ND qui s’épaissit progressivement (et devient plus sombre) au niveau de son périmètre, réduisant ainsi la quantité de lumière qui passe sur le périmètre extérieur. L’ouverture de cet objectif est indiquée et contrôlée par le T No., qui compense la réduction imposée par l’élément d’apodisation spécial. Le T No. peut être utilisé comme F No. sur un objectif normal lorsque l’exposition est définie.

**Principe d’amélioration de l’effet de défocalisation**

<div><b>Élément d’apodisation</b></div>	<div><b>Élément d’apodisation</b></div>
<div>Défocalisation d’un point</div> <span></span>	<div>Défocalisation d’une ligne</div> <span></span>
<div>Cet objectif</div> <span></span>	<div></div> <span></span>
<div>L’intensité diminue progressivement vers le périmètre</div> <span></span>	<div>Diffusion progressive sans perdre les contours</div> <span></span>
<div>Objectif traditionnel idéal en théorie</div> <span></span>	<div></div> <span></span>
<div>L’intensité reste identique</div> <span></span>	<div>La ligne devient plus épaisse</div> <span></span>

Les images défocalisées apparaissent comme des groupes de points flous. Un objectif avec une aberration bien compensée reproduit le contour de l’image avec précision mais ne peut pas produire des effets de flou doux dans une zone défocalisée. Des effets de flou indésirables peuvent être présents, par exemple une ligne semble être double, selon la méthode de compensation. Cet objectif est équipé d’un élément d’apodisation spécial, offrant une image rendue progressivement diffuse sur le périmètre, sans perdre le contour initial. En d’autres termes, il offre une défocalisation douce et naturelle sans transformer les contours initiaux de façon artificielle. L’élément d’apodisation fournit son effet lorsque l’ouverture est réglée dans une plage comprise entre T/5.6 et T/8.

Pour plus d’informations sur la compatibilité, consultez le site de Sony de votre pays, ou adressez-vous à un revendeur Sony ou à un service après-vente agréé Sony.

**Pour commuter entre AF (mise au point automatique) et MF (mise au point manuelle)**

Il est possible de régler le mode de mise au point sur AF ou MF sur l’objectif.

Pour la photographie en mode AF, l’appareil photo et l’objectif doivent être tous les deux réglés sur AF. Pour la photographie en mode MF, l’appareil photo ou l’objectif, ou bien les deux, doivent être réglés sur MF.

**Pour régler le mode de mise au point sur l’objectif**
Réglez le commutateur de mode de mise au point sur le mode adapté, AF ou MF (1).

- Reportez-vous aux manuels de l’appareil photo pour régler le mode de mise au point sur l’appareil photo.
- En mode MF, tournez la bague de mise au point pour faire la mise au point (2) tout en regardant dans le viseur, etc.

**Pour utiliser un appareil photo pourvu d’une touche de commande AF/MF**

- En appuyant sur la touche de commande AF/MF en mode AF, vous pouvez provisoirement passer en mode MF.
- En appuyant sur la touche de commande AF/MF en mode MF, vous pouvez provisoirement passer en mode AF si l’appareil photo est réglé sur MF et l’objectif sur AF.

## E Utilisation des boutons de maintien de la mise au point

- Le bouton de maintien de la mise au point de cet objectif ne fonctionne pas sur certains modèles d’appareils photo.
- Pour plus d’informations sur la compatibilité, consultez le site de Sony de votre pays, ou adressez-vous à un revendeur Sony ou à un service après-vente agréé Sony.

Appuyez sur le bouton de maintien de la mise au point en mode AF pour annuler AF. La mise au point est fixée et vous pouvez déclencher avec cette mise au point. Appuyez sur le bouton de maintien de la mise au point tout en appuyant sur le déclencheur à mi-course pour recommencer la mise au point automatique.

## F Utilisation de la fonction antibougé

### Commutateur antibougé

- ON : compense les tremblements de l’appareil photo.
- OFF : ne compense pas les tremblements de l’appareil photo. Nous conseillons de régler le commutateur antibougé sur OFF lors de la prise de vue sur un trépied.

### G Réglage de l’exposition

Lorsque vous alignez « A » de l’échelle d’ouverture sur le repère d’ouverture, l’appareil photo est réglé en mode iris automatique et l’exposition est réglée par l’appareil photo. Vous pouvez régler la quantité de lumière entre TNo.5.6 et T22\* en tournant la bague d’ouverture.

\* T No. (valeurs T) : le T No. est une valeur pratique qui indique la quantité de lumière dans l’objectif, et ainsi la vitesse de transmission de l’objectif. Bien que cette ouverture maximale de l’objectif soit de f/2,8, le système d’apodisation spécial offre une quantité de lumière de T/5,6, qui correspond à celle de f/5,6 sur un objectif normal. La valeur d’ouverture de l’objectif, la valeur indiquée sur l’appareil photo et la valeur utilisée pour déterminer l’exposition sont toutes indiquées par le T No. Utilisez le T No. comme valeur d’ouverture normale.

**Réglage manuel de la quantité de lumière**

**Tournez la bague d’ouverture sur le Tno de votre choix lorsque l’appareil photo est réglé en mode M ou A.**

- Cet objectif est fourni avec des intervalles d’échelle d’ouverture entre T/5,6 et T/8 pour un réglage plus précis.

- Même si cet objectif indique les repères d’échelle d’ouverture de T/5,6, T/6,3, T/7,1 et T/8, vous pouvez toutefois régler l’ouverture à n’importe quelle valeur entre ces repères.

- Alors que la valeur d’ouverture utilisée pour la prise de vue réelle est celle réglée sur la bague d’ouverture, la valeur utilisée pour l’indication sur l’appareil photo ainsi que l’enregistrement de la valeur d’exposition est déterminée selon le réglage de paliers d’exposition sur l’appareil photo.

**Remarques**

Réglez le commutateur d’encliquetage de l’ouverture sur OFF lors de l’enregistrement de vidéos. (Voir l’illustration **B**..a.)

Lorsque le commutateur d’encliquetage de l’ouverture est réglé sur OFF, le bruit émis par la bague d’ouverture est réduit. (Pour l’enregistrement de vidéos)

Si vous changez la valeur d’ouverture pendant l’enregistrement d’une vidéo avec le commutateur d’encliquetage de l’ouverture réglé sur ON, le bruit émis par la bague d’ouverture sera enregistré.

## H Changement de la distance de prise de vue

Vous pouvez faire une prise de vue d’un sujet rapproché jusqu’à 0,57 m (grossissement maximal de 0,25 x) en tournant la bague macro vers « 0.57m-1.0m ».

**Appuyez sur le bouton de blocage de macro et maintenez-le enfoncé, puis tournez la bague macro vers la distance de prise de vue de votre choix.**

- 0.85m-∞ (prise de vue normale) : convient pour une distance de prise de vue entre l’infini et 0,85 m.
- 0.57m-1.0m (prise de vue macro) : convient pour une distance de prise de vue entre 1,0 m et 0,75 m.

### Spécifications

Nom de produit (Nom de modèle)	FE 100mm F2.8 STF GM OSS (SEL100F28GM)
Longueur focale (mm)	100
Longueur focale équivalente à 35 mm <sup>a</sup> (mm)	150
Éléments-groupes de lentilles	10-13 <sup>+2</sup>
Angle de champ <sup>1+3</sup>	24°
Angle de champ <sup>2+3</sup>	16°
Mise au point minimale <sup>*4</sup> (m (pieds))	
Bague macro réglée sur « <span> </span> 0.85m-∞ <span> </span> »	0,85 (2,79)
Bague macro réglée sur « <span> </span> 0.57m-1.0m <span> </span> »	0,57 (1,87)
Grossissement maximal (X)	
Bague macro réglée sur « <span> </span> 0.85m-∞ <span> </span> »	0,14
Bague macro réglée sur « <span> </span> 0.57m-1.0m <span> </span> »	0,25
Ouverture minimale	F20 (T22)
Diamètre d’objectif (mm)	72
Dimensions (diamètre maximal × hauteur (environ, mm (po.))	85.2 × 118.1 (3 <span> </span> 3/8 × 4 <span> </span> 3/4)
Poids (environ, g (oz))	700 (24,7)
Fonction Antibougé	Oui

<sup>\*1</sup> Longueur focale équivalente en format 35 mm lorsque installé sur un appareil photo à objectif interchangeable avec capteur d’image de taille APS-C.

<sup>\*2</sup> L’élément d’apodisation n’est pas fourni.

<sup>\*3</sup> L’angle de vue 1 est la valeur correspondant aux appareils photo 35 mm et l’angle de vue 2 est la valeur correspondant aux appareils photo à objectif interchangeable équipés d’un capteur d’image APS-C.

<sup>\*4</sup> La mise au point minimale est la distance du capteur d’image au sujet.

• Selon le mécanisme de l’objectif, la focale peut changer lorsque la distance de prise de vue change. Les focales indiquées ci-dessus présupposent que l’objectif est réglé sur l’infini.

Articles inclus (Le chiffre entre parenthèses indique le nombre d’unités.)
Objectif (1), Capuchon d’objectif avant (1), Capuchon d’objectif arrière (1), Parasoleil (1), Boîtier d’objectif (1), Jeu de documents imprimés

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

**α** et **G** sont des marques commerciales de Sony Corporation.

## Español

<p>En este manual se explica cómo utilizar objetivos. Las precauciones comunes a todos los objetivos, como notas sobre la utilización, se encuentran en las “Precauciones previas a la utilización del producto” suministradas por separado. Cerciórese de leer ambos documentos antes de utilizar su objetivo.</p>

Este objetivo está diseñado para cámaras con montura E del sistema de cámaras α de Sony. No podrá utilizarse con cámaras con montura A. El FE 100mm F2.8 STF GM OSS es compatible con la gama de un sensor de imágenes de formato de 35 mm. Una cámara equipada con un sensor de imágenes de formato de 35 mm puede establecerse para fotografiar con tamaño APS-C.

Con respecto a los detalles sobre cómo configurar su cámara, consulte su manual de instrucciones.

Para más información sobre compatibilidad, visite el sitio Web de Sony de su área, o consulte a su proveedor Sony o a un centro de servicio local autorizado por Sony.

## Notas sobre la utilización

- No deje el objetivo expuesto al sol o a fuentes de luz intensas. Es posible que se produzcan fallos de funcionamiento interno del cuerpo de la cámara y del objetivo, humo, o un incendio como efecto de la luz directa. Si las circunstancias exigen dejar el objetivo expuesto a la luz solar, asegúrese de colocar las tapas del objetivo.
- Quando fotografie contra el sol, mantenga el sol completamente fuera del ángulo de visión. De lo contrario, los rayos solares podrían concentrarse en un punto en el interior de la cámara, causando humo o un incendio. Mantener el sol ligeramente fuera del ángulo de visión también puede causar humo o un incendio.

- Quando transporte una cámara con el objetivo fijado, sujete siempre firmemente tanto la cámara como el objetivo.

- Este objetivo no es impermeable, aunque se ha diseñado teniendo en cuenta la resistencia al polvo y a las salpicaduras. Si se utiliza bajo la lluvia, etc., mantenga las gotas de agua alejadas del objetivo.

**Precauciones sobre la utilización de un flash**

- Este objetivo no podrá utilizarse con un flash incorporado en la cámara.

Utilice un flash externo (vendido aparte).

## A Identificación de las partes

- Índice del parasol del objetivo
- Anillo de enfoque
- Índice de apertura
- Escala de apertura
- Anillo de apertura
- Índice de conmutación de macro
- Botón de conmutación de macro
- Botón mantener-enfoque
- Interruptor del modo de enfoque
- Interruptor de compensación de sacudidas
- Anillo de conmutación de macro
- Botón de desbloqueo de conmutación de macro
- Índice de montaje
- Parasol
- Interruptor de chasqueo de apertura
- Contacts del objetivo\*
- Anillo de caucho de montaje del objetivo

\* No toque los contactos del objetivo.

## B Colocación y extracción del objetivo

**Para colocar el objetivo** (Consulte la ilustración **B-1**.)

- Extraiga las tapas posterior y frontal del objetivo y la tapa del cuerpo de la cámara.
  - Usted podrá colocar/extraer la tapa frontal del objetivo de dos formas. (1) y (2). Cuando coloque/extraiga la tapa del objetivo con el parasol fijado, utilice el método (2).

**2** Alinee el índice blanco del barril del objetivo con el índice blanco de la cámara (índice de montaje), y después inserte el objetivo en la montura de la cámara y gírelo hacia la derecha hasta que se bloquee.

- No presione el botón de liberación del objetivo de la cámara cuando monte el objetivo.
- No monte el objetivo de forma inclinada.

**Para extraer el objetivo** (Consulte la ilustración **B-2**.)

Manteniendo presionado el botón de liberación del objetivo de la cámara, gire el objetivo hacia la izquierda hasta que se pare, y después extraiga el objetivo.

## C Colocación del parasol del objetivo

Es recomendable utilizar un parasol para reducir los reflejos y garantizar la máxima calidad de la imagen.

Alinee la línea roja del parasol del objetivo con la línea roja del objetivo (índice del parasol), después inserte el parasol del objetivo en la montura del objetivo, y gírelo hacia la derecha hasta que chasquee en su lugar y el punto rojo del parasol del objetivo quede alineado con la línea roja del objetivo (índice del parasol).

- Quando utilice un flash externo (vendido aparte), extraiga el parasol del objetivo para evitar que se bloquee la luz del flash.
- Quando guarde la cámara, fije el parasol hacia atrás.

### D Enfoque

Existen tres formas de enfocar.

- Enfoque automático** La cámara enfocará automáticamente.

- DMF (Enfoque manual directo)** Después de que la cámara enfoque automáticamente, podrá realizar manualmente un ajuste fino.

- Enfoque manual**

Usted enfocará manualmente.

Con respecto a los detalles sobre los ajustes de modo, consulte el manual de instrucciones suministrado con la cámara.

Con algunos modelos de cámaras, AF no funciona durante la grabación de películas.

Para más información sobre compatibilidad, visite el sitio Web de Sony de su área, o consulte a su proveedor Sony o a un centro de servicio local autorizado por Sony.

**Para cambiar AF (enfoque automático)/MF (enfoque manual)**

El enfoque puede cambiarse entre AF y MF en el objetivo.

Para fotografiar con AF, tanto la cámara como el objetivo deberán ajustarse a AF. Para fotografiar con MF, tanto la cámara como el objetivo deberán ajustarse a MF.

**Para ajustar el modo de enfoque en el objetivo**

Deslice el interruptor del modo de enfoque hasta el modo apropiado, AF o MF (1).

- Para ajustar el modo de enfoque de la cámara, consulte los manuales de la cámara.

- En MF, gire el anillo de enfoque mientras observe a través del visor, etc., para ajustar el enfoque (2).

**Para utilizar una cámara equipada con botón de control AF/MF**

- Pulsando el botón de control AF/MF durante la operación con AF, podrá cambiar temporalmente a MF.
- Pulsando el botón de control AF/MF durante la operación con MF, podrá cambiar temporalmente a AF si el objetivo está ajustado a AF y la cámara a MF.

## E Utilización de los botones mantener-enfoque

- El botón mantener-enfoque de este objetivo no funcionará con ciertos modelos de cámaras. Para más información sobre compatibilidad, visite el sitio Web de Sony de su área, o consulte a su proveedor Sony o a un centro de servicio local autorizado por Sony.

Pulse el botón mantener-enfoque en AF para cancelar AF. El enfoque se fijará y podrá accionar el obturador en el enfoque fijo. Suelte el botón mantener-enfoque mientras pulse hasta la mitad el botón del obturador para iniciar de nuevo AF.

## F Utilización de la función de compensación de sacudidas

**Interruptor de compensación de sacudidas**

- ON : Compensa las sacudidas de la cámara
- OFF : No compensa las sacudidas de la cámara. Recomendamos poner el interruptor de compensación de sacudidas en OFF cuando realice tomas con un trípode.

### G Ajuste de la exposición

Quando alinee “A” de la escala de apertura con el índice de apertura, la cámara se establece en el modo de iris automático y la exposición se ajusta mediante la cámara. Y puede ajustar la cantidad de luz que entra en el objetivo entre TNo.5,6 y T22\* girando el anillo de apertura.

\*